2025年5月13日

会社名 株式会社 アイスタイル
代表者名 代表取締役会長 CEO 吉松 徹郎
(コード番号：3660 東証プライム)
問合せ先 取締役副会長 CFO 菅原 敬
(TEL.03-6161-3660)

2025年6月期 第3四半期決算に関する想定質問とその回答

■ 連結

1. 2Qに開示した上方修正後の業績予想に対する進捗状況は？

3Qも引き続き、マーケティング支援事業・リテール事業などの国内事業が、連結業績の増収・増益を牽引し、これを受けて2Qに上方修正した業績予想を上回る可能性がある。ただし、4Qは人材関連費用やシステム関連費用等の成長投資が増加する計画であるため、3Q対比で減益となる見込みである。

2. Amazon.com, Inc.(以下、Amazon)の転換社債^{※1}の権利行使による影響は？

本権利行使により、Amazonが当社の第2位の大株主(10.4%)^{※2}となる。なお、第1位は当社代表取締役会長兼CEOの吉松徹郎(13.7%)である。(同氏の資産管理会社分を含む)
今後も業務資本提携パートナーとして、Amazon.co.jp内にある「@cosme SHOPPING」の強化を図っていく。また、経営体制の変更はなく、引き続き上場企業として完全なる独立性を持ったガバナンスを維持する所存である。

※1 同転換社債の詳細は、2022年8月15日公表の適時開示を参照

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3660/tdnet/2174412/00.pdf>

※2 2025年3月31日時点の株主名簿に、本権利行使および4月のストックオプション行使を加味した発行済株式総数に対する持株比率

■ マーケティング支援事業

3. データドリブンソリューションの進捗状況は？

2025年4月に美容業界のデータドリブンな意思決定を支援する新事業「データドリブンソリューション」を正式にローンチした。あわせて、本事業を推進する新会社「アイスタイルデータコンサルティング株式会社」を、CXコンサルティングファームである株式会社 NODE(34%出資)と設立した。

詳細は4月8日発表のプレスリリースを参照

<https://www.istyle.co.jp/news/press/2025/04/0408.html>

本件をきっかけに、人材採用やコンサル案件の問い合わせも増加傾向にあり、需要の強さを改めて実感するとともに、好調なスタートを切っている。

■リテール事業

4. @cosme TOKYO のリニューアルの概要は？

売場面積は、1,300㎡から1,380㎡に増床、取扱いブランド数も650ブランドから750ブランドへと拡大した。フレグランスゾーンやミニコスメコーナーの新設もあり、ユーザーとブランドとの新たな出会いを創出することで、新規顧客や1人当たりの買上点数が増加傾向となっている。今後も面積効率の向上を通じて、さらなる収益拡大を目指す。

5. @cosme TOKYO のリニューアルに伴う休業の影響は？

リニューアルに際し、2025年2月12日～3月4日までの21日間休業していた。

仮に、@cosme TOKYO の2Qにおける1日あたり平均売上高を基に、リニューアル休業期間の売上高を試算すると、約5億円となる。

■グローバル事業

6. 香港旗艦店のオープン時期はいつ頃か？

2025年中のオープンに向けて準備を進めており、詳細な時期は今後のリリースにて開示予定である。なお、2025年6月期は3Qより期初計画外のオープン前費用を計上したため、グローバル事業は来期以降での黒字化を見込んでいる。

以上